

「大切な1年を全力で」

仙北市長 門脇 光浩

皆様と一緒に、新年を迎えることができたことを、本当にありがたく思っています。皆様に幸せな時間が訪れますよう、心からご祈念を申し上げます。

昨年は仙北市の市政10周年で、様々な取り組みが行われました。どの行事にも皆様の活き活きとした笑顔がありました。やはり街は人、人の元気が街の元気です。当たり前のことに気付かせていただいた一年でした。一方で起こった悲しい事故や事件は、私や市役所の思い上がり、過信も原因だったのではないかと自戒しています。

最近になり、これまでの10年で起こった様々な出来事を、静かに振り返っています。物事には必ず意味があるはずです。何に気付くか、神様に試されているような気がします。さらに今後の10年、皆様が主役の仙北市をどのように描くのか、問いかけられて

けられている様な気がします。ともかく今年は、これまでの事故・事件対策と、責任を全力で果たす1年です。同時に辛くとも前に進む、決して歩みを止めない仙北市を、明確に全国に示す1年にしなければなりません。

こんな決意で、来年度からスタートする各種事業計画の策定作業にあたっていきます。新総合計画や仙北市版総合戦略・人口ビジョン、公共施設等総合管理計画、市立病院等経営改革プラン、新観光振興計画、新農林業振興計画など、その数は10本以上に及びます。

新総合計画は向こう10年の設計図、総合戦略は直近5年間の地方創生プランです。どちらも基本姿勢は「最も大切なことは市民生活の安定」です。特に総合戦略では、「まち・ひと・しごと」に関係する事業に集中的に取り組みます。農林・商工・観光業

分野で経済再生に挑み、少子化対策の格段の進展はもちろん、高齢社会にあっても、安全で便利な生活環境が維持できる地域社会の形成を目指しています。

新年度予算には、これらの芽出しとなる経費を盛り込む予定です。例えば地元事業所支援では、融資事業の限度額の上乗せ利子補給・空き店舗対策の拡充などを、観光振興では2次アクセスの改善や施設改修、外国人観光客の対応強化などを、農産物のブランド化では、田沢ナガイモ・西明寺栗・生保内タケノコ・雲然柿の生産振興支援などを、子育て応援では、中学生までの福祉医療費助成の実施、2人目以降の保育料無料化、放課後児童クラブの利用料の引き下げ、奨学金貸付制度の返還免除などを、定住移住促進では、雪国対策リフォームや移住支援一時金支給などを、予算化したいと思います。

また今年も、これまでの懸案事項を解決する1年です。一体型庁舎・統合庁舎構想は、市議会特別委員会で集中審議をいただいています。必ず統合庁舎が実現すると確信してい

ます。温泉事故で対応を急ぐ水沢新源泉からの引湯工事は、年内の竣工が目標です。建設中の市立角館総合病院は、移転竣工までの時間を活用し、接遇や患者対応力の改善、また医療と保健・福祉・介護の束ね役として、田沢湖病院と5診療所、民間医療機関と連携した経営指針をまとめます。田沢湖クニマス未来館のオープンでは、昨年末に表敬訪問した山梨県の後藤斎知事から、「里帰りの際には、その仲間役として私も伺います」と力強いお話をいただきました。クニマスの生体展示を実現し、田沢湖再生活動を加速します。さらに昨年、国家戦略特区・地方創生特区と、近未来技術実証特区のダブル指定をいただきましたが、豊かな温泉群と医療を連動した「国際ヘルスツーリズム」をスタートし、ドローン特区では、国際競技会の開催や企業等の招へいを目指します。

TPP、太平物産(株)の肥料表示偽装など、内外情勢は混沌の1途ですが、明日の仙北市を拓くため、皆様のご指導とご協力をどうかお願いします。